注文書明細のブロックのサポート SBNI-1393

一般提供予定：2025 年 5 月

機能概要

© 2025 SAP SE or an SAP affiliate company.All rights reserved. | パブリック

注文書の明細のブロックのサポート

機能の説明

現在、注文書 (PO) でブロックされた明細は削除済みとして処理されるため、サプライヤが注文書 cXML、EDI、またはその他の形式に含まれていないため、混乱を招きます。この機能によって、可視性を高めるために、ブロックされた状況を示し、任意で理由を含める新しい属性が導入されます。サプライヤは、ブロックされている明細に対して後続ドキュメント (OC、ASN、SES、請求書) を作成できませんが、ブロックされていない明細は引き続き処理できます。

主な利点

サプライヤは、ブロックされている注文書明細を明確に把握し、理由を理解できるため、混乱が軽減されます。

保留解除された購買発注明細のみが確認、納入、および請求書に対して処理されるようにします。

オーディエンス:

バイヤーおよびサプライヤ

イネーブルメントモデル:

顧客による設定

対象ソリューション:

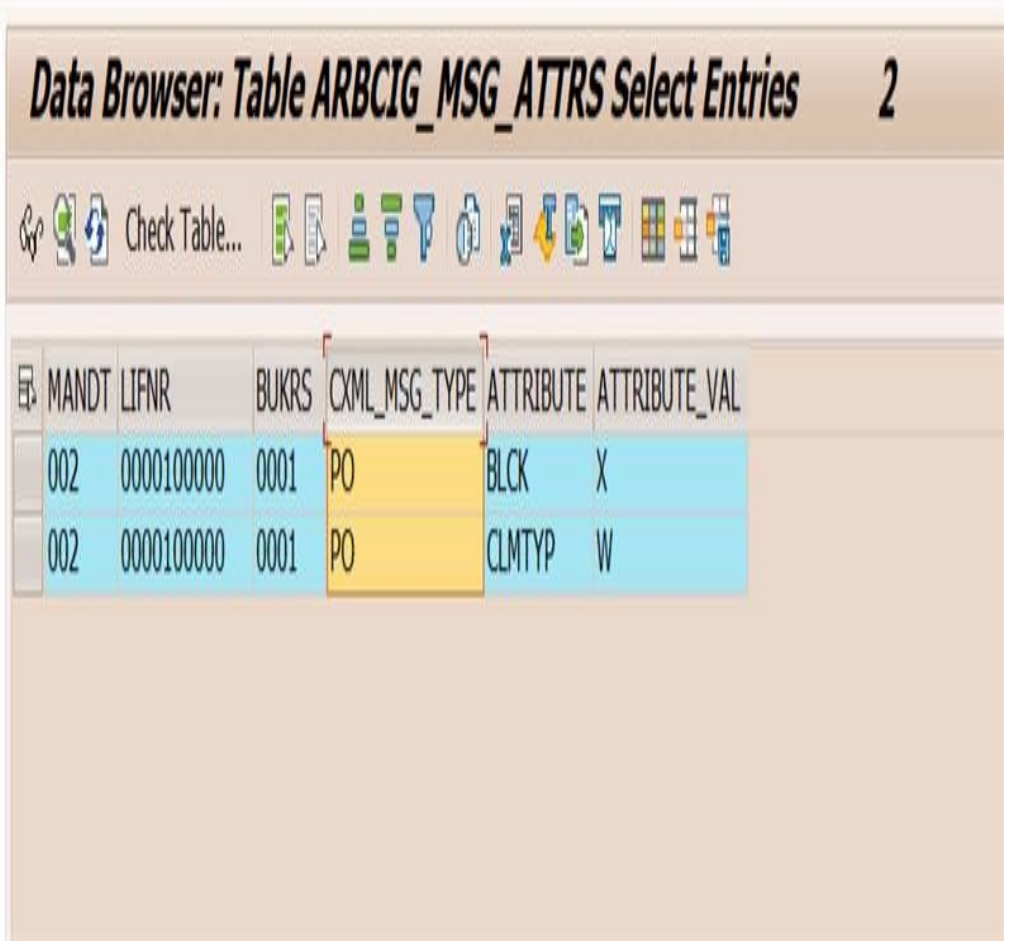
SAP ERP
SAP Business Network

© 2025 SAP SE or an SAP affiliate company.All rights reserved. | パブリック

イネーブルメントの手順および注記

- サプライヤの購買発注でブロック済区分を送信するには、購買担当者がテーブル ARBCIG_MSG_ATTRS で SM30 を使用して属性を更新する必要があります。

フィールド	金額
サプライヤ	サプライヤを選択する
会社コード	会社コードを選択します。
Msg.タイプ	PO
仕入先属性	BLCK
仕入先固有属性値	以下の値のいずれかを更新します。 **X**: ブロックされた行を送信します。 ' ': ブロック済区分が送信されません。



© 2025 S

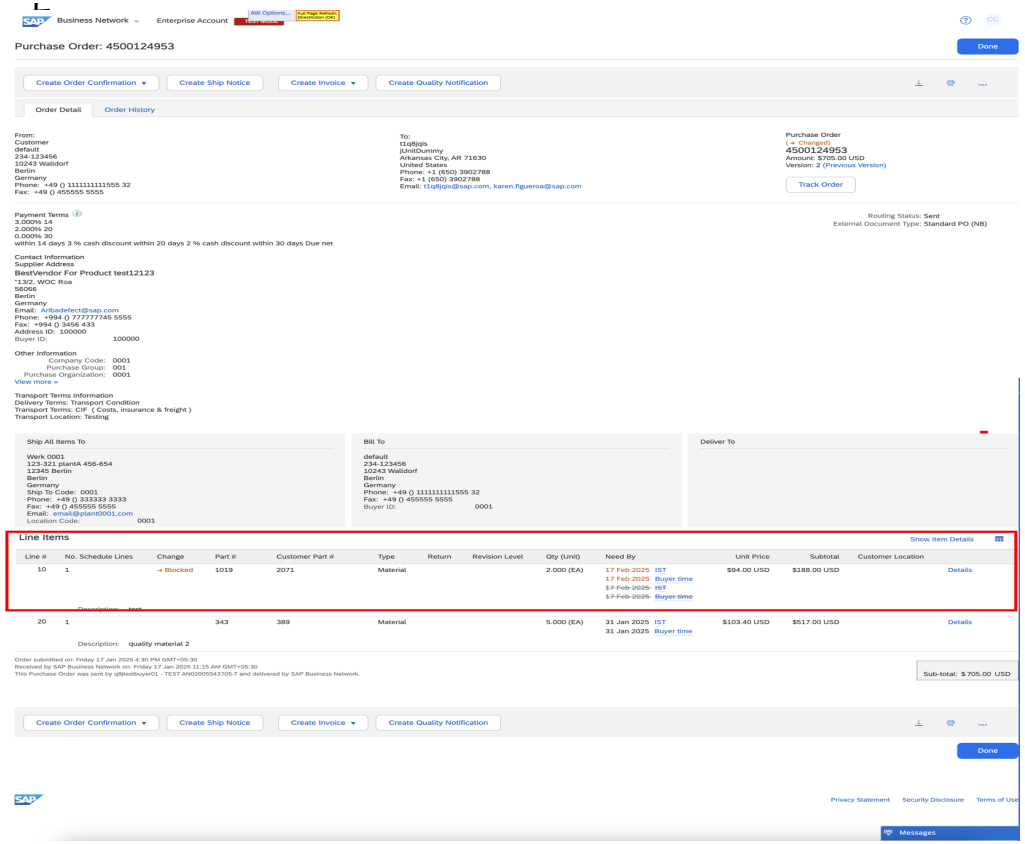
ユーザストーリー

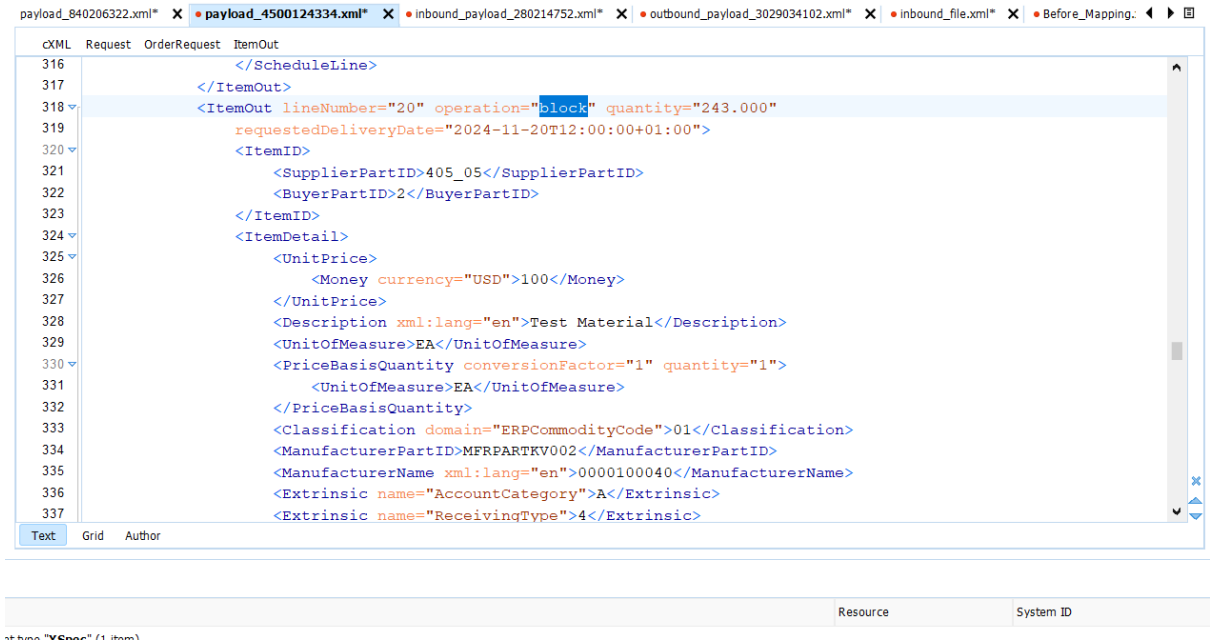
購買担当者として、購買発注明細をブロック済としてマークし、このステータスをサプライヤに伝達します。
サプライヤがブロック済明細を認識し、それらのフォローアップ伝票を登録できず、ブロックが解除された明細のみを適切に処理できるようにします。

© 2025 SAP SE or an SAP affiliate company.All rights reserved. | パブリック

機能の詳細

バイヤーが注文書 (PO) 明細をブロックすると、IDoc (CXML) でブロック済み区分が設定されます。サプライヤは、ブロックされた明細のフォローアップドキュメント (オーダー確認、出荷通知、請求書) を作成することはできませんが、ブロック解除された明細を通常どおり処理することはできま





テストランドスケープ

- **SAP ERP システム:**
  - Q8J (002) – 購買担当者
- **AN 認証情報 (バイヤー)**
  - ANID: AN02005543705-T
- **AN 認証情報 (サプライヤ)**
  - ANID: AN02004712159-T
- **CIG :** CIG QA サービス

© 2025 SAP SE or an SAP affiliate company.All rights reserved. | パブリック

ありがとうございました。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company.All rights reserved.この資料に関連する使用条件、免責条項、開示、または制限については、www.sap.com/legal-notice の法律上の注意事項を参照してください。

SAP Business Network

フォローをお願いします。

www.sap.com/contactsap

© 2025 SAP SE or an SAP affiliate company.All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその頒布業者が販売するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社が所有権を有するソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/trademark をご覧ください。

THE BEST RUN SAP